

令和4年度の決算概要について

1 令和4年度入院・外来実績

(1) 入院

ア 延入院患者数は105,341人となり、前年度実績(98,866人)と比べて6,475人増加しました。

イ 1日平均入院患者数は288.6人となり、前年度実績(270.9人/日)と比べて17.7人増加しました。

ウ 患者一人1日あたりの診療単価は72,102円となり、前年度実績(69,241円)と比べて2,862円上回りました。

・以上の結果、入院収益は入院単価の上昇と患者数の増により、前年度決算額と比べて74,900万円余増加しました。

(2) 外来

ア 延外来患者数は130,532人となり、前年度実績(127,014人)と比べて3,518人増加しました。

イ 外来診療日(243日/年)一日当たりの平均患者数は、537.2人となり、前年度実績(522.7人/日)(243日/年)と比べて14.5人増加しました。

ウ 患者一人1日あたりの診療単価は22,467円となり、前年度実績(23,083円)と比べて616円下回りました。

・以上の結果、外来収益は、外来単価は下落しましたが、患者数の微増により前年度決算額と比べて、80万円余増加しました。

【入院・外来実績 年度推移】

区 分	令和3年度決算 ①	令和4年度決算 ②	前年度対比		
			②-①	②÷①	
入院	延入院患者数(人)	98,866	105,341	6,475	106.5
	本院分	94,618	100,808	6,190	106.5
	救命C分	4,248	4,533	285	106.7
	1日平均入院患者数(人)	270.9	288.6	17.7	106.5
	本院分	259.2	276.2	17.0	106.5
	救命C分	11.6	12.4	0.8	106.7
	病床利用率(許可ベース)(%)	64.0	68.2	4.2	106.5
	本院分	66.0	70.3	4.3	106.5
	救命C分	38.8	41.4	2.6	106.7
	病床利用率(実稼働ベース)(%)	71.6	72.9	1.2	101.7
	本院分	73.2	75.5	2.3	103.1
	救命C分	48.5	51.7	3.3	106.7
入院1日診療単価(円)	69,241	72,102	2,862	104.1	
入院収益(千円)	6,845,544	7,595,323	749,779	111.0	
平均在院日数(日)	11.3	11.6	0.3	102.7	
外来	延外来患者数(人)	127,014	130,532	3,518	102.8
	1日平均外来患者数(人)	522.7	537.2	14.5	102.8
	外来1日診療単価(円)	23,083	22,467	▲616	97.3
	外来収益(千円)	2,931,801	2,932,626	825	100.0
紹介率	68.3	69.3	1.0	101.5	

2 令和4年度収支実績

(1) 収益的収支（税抜）

ア 収益

- ・収益は156億4,000万円余で前年度の決算額を10億9,900万円余上回りました。
- ・医業収益は、新型コロナウイルス対策としての一病棟専用化等が引き続き影響しているものの、入院患者数は微増したことから、入院収益は75億9,500万円余と前年度の決算額と比べて7億4,900万円余増加しました。また、外来収益も、患者数の微増により29億3,200万円余と前年度と比較して80万円余増加しました。
- ・その他営業収益については昨年度から引き続き、新型コロナウイルスに関する空床補償補助金の24億7,000万円余の受け入れがあり、前年度決算とほぼ横ばいの収益となっています。
- ・運営費負担金収益（営業収益）については、光熱水費の高騰により費用が増加した部分において、新たに県から負担金の交付があったこと等により、前年度の決算額と比べて1億6,000万円余上回りました。
- ・臨時利益については、コロナ患者分を含む前年度のレセプト保留分の利益になります。

イ 費用

- ・費用は132億3,800万円余で、前年度と比較して、3億5,100万円余増加しています。これは、看護職員処遇改善等により給与費が7,900万円余増加したことや、光熱水費の高騰や、人件費の上昇による委託費の増に伴い、経費が2億円余り増加したことなどによるものです。
- また、材料費については、手術件数の増等により前年度と比べて8,000万円余増加しました。

ウ 損益

- ・経常損益は22億2,700万円余の黒字となり、前年度と比較して、5億7,300万円余、収支が改善しております。純損益も24億円余の黒字となり、前年度と比較して7億4,800万円余収支が改善しています。
- 計上黒字となった最も大きな要因は、空床補償補助金（24億7,000万円余）によるものです。

(2) 資本的収支（税込）

- ・建設改良費による医療機器等の整備は4億400万円余となり、前年度と比較して、2億4,800万円余の減額となりました。主な建設改良費としては、電動ベッド86台の更新（2,600万円余）、関節鏡カメラの導入（2,300万円余）、婦人科4Dエコー（1,900万円）等があります。
- ・令和4年度は投資有価証券を新発・既発地方債を額面3億円分購入しました。
- ・以上の結果、資本的収支は、15億3,100万円余のマイナスとなりました。

【収益的収支】（税抜）

（単位：千円）

区分	款	項	令和3年度決算 A	令和4年度決算 B	前年度対比 C=B-A
収益	営業 収益	医業収益 ①	9,952,179	10,692,653	740,474
		うち入院収益	6,845,544	7,595,323	749,779
		うち外来収益	2,931,801	2,932,626	825
		運営負担金収益	1,810,491	1,971,144	160,653
		資産見返負債戻入	55,054	64,011	8,957
		その他営業収益	2,542,302	2,571,134	28,832
		小計 ③	14,360,026	15,298,942	938,916
	営業外 収益	運営負担金収益	62,137	41,337	▲ 20,800
		その他営業外収益	118,873	125,791	6,918
		小計 ④	181,010	167,128	▲ 13,882
		臨時利益 ⑦	0	174,516	174,516
		計	14,541,036	15,640,586	1,099,550
	費用	営業 費用	医業費用	11,759,368	12,105,432
給与費			6,354,610	6,421,707	67,097
材料費			2,757,486	2,838,148	80,662
うち薬品費			1,506,570	1,542,500	35,930
うち診療材料費			1,187,477	1,229,021	41,544
経費			1,834,990	2,042,148	207,158
減価償却費			778,621	762,152	▲ 16,469
資産減耗費			3,810	4,141	331
研究研修費			29,853	37,136	7,283
一般管理費			534,878	548,140	13,262
うち給与費			445,139	457,735	12,596
小計 ②			12,294,246	12,653,572	359,326
営業外 費用		財務費用	93,793	62,518	▲ 31,275
		その他営業外費用	499,531	522,686	23,155
		小計 ⑤	593,324	585,204	▲ 8,120
	臨時損失 ⑧	0	0	0	
	計	12,887,570	13,238,776	351,206	
	【医業損益】 ①－②	▲ 2,342,067	▲ 1,960,919	381,148	
	【経常損益】 ⑥ (③+④)－(②+⑤)	1,653,466	2,227,294	573,828	
	【純損益】 ⑥+⑦－⑧	1,653,466	2,401,810	748,344	

【資本的収支】（税込）

（単位：千円）

区分	款	項	令和3年度決算 D	令和4年度決算 E	前年度対比 F
収入	資本的 収入	長期借入金	429,400	385,000	▲ 44,400
		運営負担金	0	0	0
		その他収入	147,945	9,303	▲ 138,642
		小計 ⑨	577,345	394,303	▲ 183,042
支出	資本的 支出	建設改良費	652,639	404,324	▲ 248,315
		償還金	1,174,541	1,224,706	50,165
		投資有価証券購入費	0	297,074	297,074
		小計 ⑩	1,827,180	1,926,104	98,924
	収支 ⑨－⑩	▲ 1,249,835	▲ 1,531,801	▲ 281,966	

3 経営指標

- ・令和4年度経営指標の各比率については下記のとおりです。
- ・なお、経常収支比率については空床補償補助金受入による収益の増加が改善要因の一つになります。

(単位：%)

	令和3年度実績 a	令和4年度実績 b	前年度対比 b - a
医業収支比率	80.9	84.5	3.6
経常収支比率	112.8	116.8	4.0
給与比率 (対医業収益)	68.3	64.3	▲ 4.0
材料比率 (対医業収益)	27.7	26.5	▲ 1.2
経費比率 (対医業収益)	18.4	19.9	1.5
繰入比率 (対経常収益)	12.9	13.0	0.1

$$\text{医業収支比率} = \frac{\text{医業収益}}{\text{営業費用}} = \frac{10,692,653}{12,653,572} = 84.5\%$$

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常収益 (営業収益 + 営業外収益)}}{\text{経常費用 (営業費用 + 営業外費用)}} = \frac{15,298,942 + 167,128}{12,653,572 + 585,204} = 116.8\%$$

$$\text{給与比率} = \frac{\text{給与 (医業費用分 + 一般管理費分)}}{\text{医業収益}} = \frac{6,421,707 + 457,735}{10,692,653} = 64.3\%$$

$$\text{材料比率} = \frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}} = \frac{2,838,148}{10,692,653} = 26.5\%$$

$$\text{経費比率} = \frac{\text{経費}}{\text{医業収益}} = \frac{2,131,136}{10,692,653} = 19.9\%$$

$$\text{繰入比率} = \frac{\text{運営費負担金}}{\text{経常収益 (営業収益 + 営業外収益)}} = \frac{1,971,144 + 41,337}{15,298,942 + 167,128} = 13.0\%$$